



Cisco DNA Spaces : コネクタ Hyper-V

- [Hyper-V のダウンロードと展開 \(1 ページ\)](#)

Hyper-V のダウンロードと展開

この章では、Cisco DNA Spaces : コネクタ をダウンロードして展開し、コネクタ GUI の URL を取得する方法について説明します。



(注) **dnasadmin** は、以前は **cmxadmin** でした。

始める前に

Hyper-V で vSwitch を作成します。コネクタはこの vSwitch に接続します。

手順の概要

1. Cisco.com から [コネクタ](#) の VHDX イメージをダウンロードし、Hyper-V インスタンスを作成するフォルダの場所に VHDX を保存します。
2. 作成された vSwitch を右クリックし、[New] > [Virtual machine] の順に選択します。
3. [Next] をクリックして、Hyper-V の展開を開始します。
4. コネクタ の [Name] を入力し、仮想マシンを作成する場所を選択します。
5. [Specify Generation] ページで [Generation 1 VM] を選択します。
6. [Assign Memory] ページで、仮想マシンインスタンスに 4096 MB (4GB) のメモリを指定します。
7. [Configure Networking] ページで、前提条件として作成した vSwitch を選択します。
8. [Connect Virtual Hard Disk] ページで、[Use an existing hard disk] オプションを選択し、VHDX ファイルが保存されているフォルダの場所を選択します (前提条件)。
9. [Completing the New Machine Wizard] ページに、最終的な要約が表示されます。この要約を確認して、[Finish] をクリックします。
10. 作成された Hyper-V インスタンスを選択し、[Start] をクリックします。

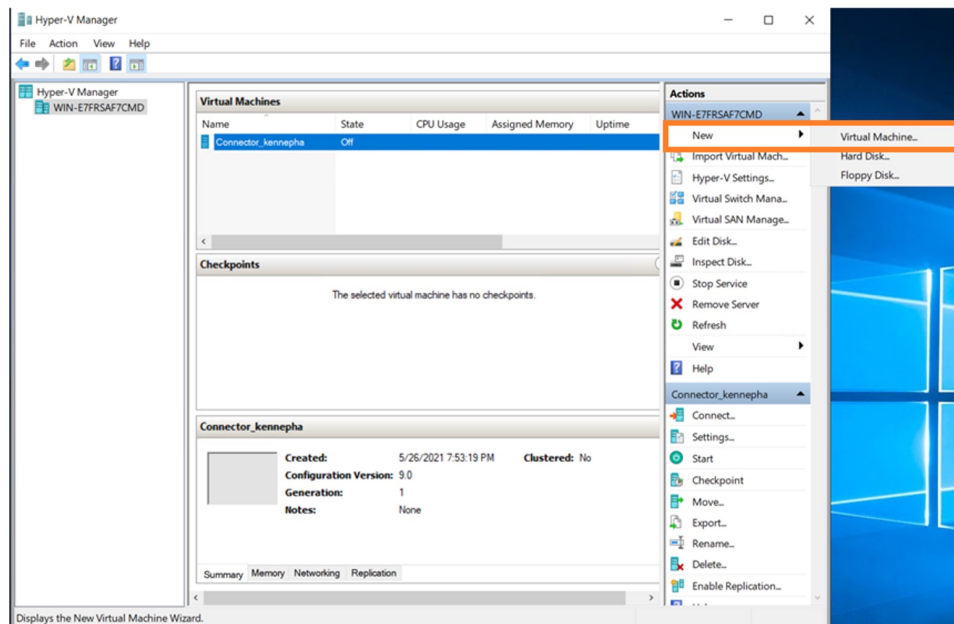
11. 端末にログインし、デフォルトのユーザ名「**root**」とデフォルトのパスワード「**cisco**」を入力します。
12. Cisco DNA Spaces : コネクタ で設定する IP アドレス、ホスト名などのパラメータを指定して、ネットワーク設定を入力します。
13. タイムゾーンを入力します。
14. Network Time Protocol (NTP) サーバ名を入力して、システム時刻を NTP サーバと同期します。NTP サーバを設定しない場合は、空白のままにします。
15. **root** ユーザの新しいパスワードを設定します。
16. 管理者権限を持つユーザである **dnasadmin** ユーザの新しいパスワードを設定します。
17. 自動リブートの前に URL をコピーして保存します。後でこの URL を使用して Cisco DNA Spaces : コネクタ GUI を開くことができます。

手順の詳細

ステップ 1 Cisco.com から **コネクタ** の VHDX イメージをダウンロードし、Hyper-V インスタンスを作成するフォルダの場所に VHDX を保存します。

ステップ 2 作成された vSwitch を右クリックし、[New] > [Virtual machine] の順に選択します。

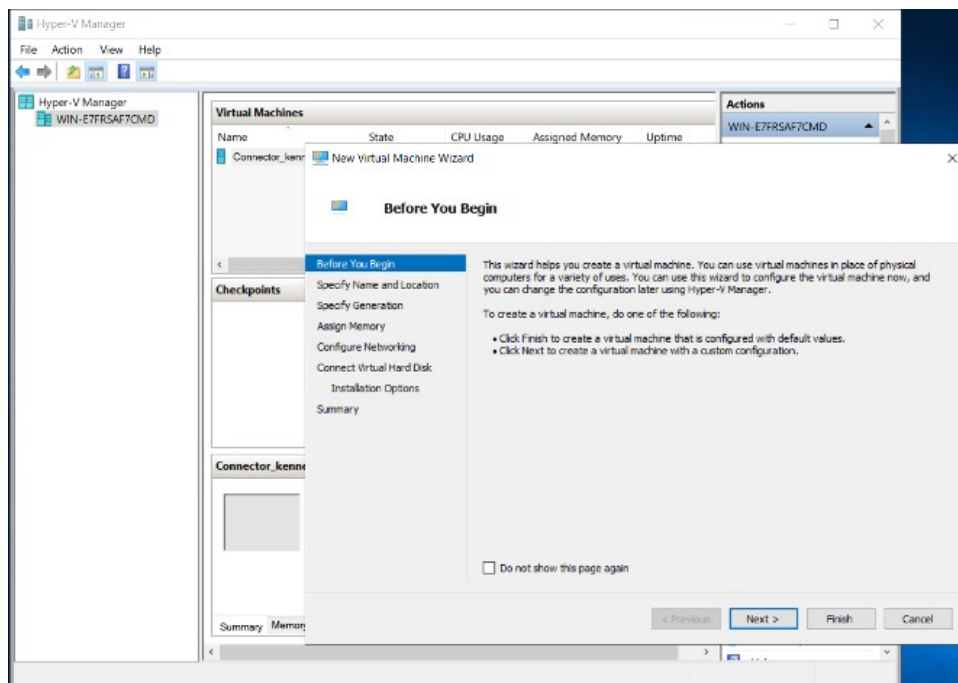
図 1: Hyper-V 展開の開始



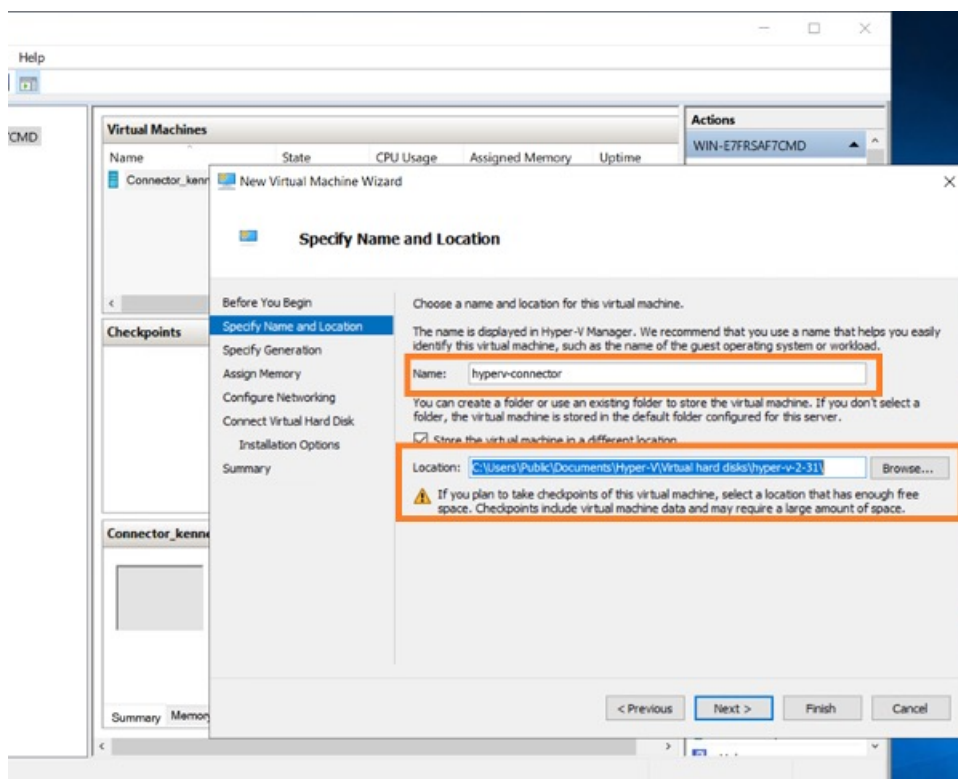
(注) [Import Virtual Machine] オプションや [New] > [Hard Disk] オプションは使用しないでください。

ステップ 3 [Next] をクリックして、Hyper-V の展開を開始します。

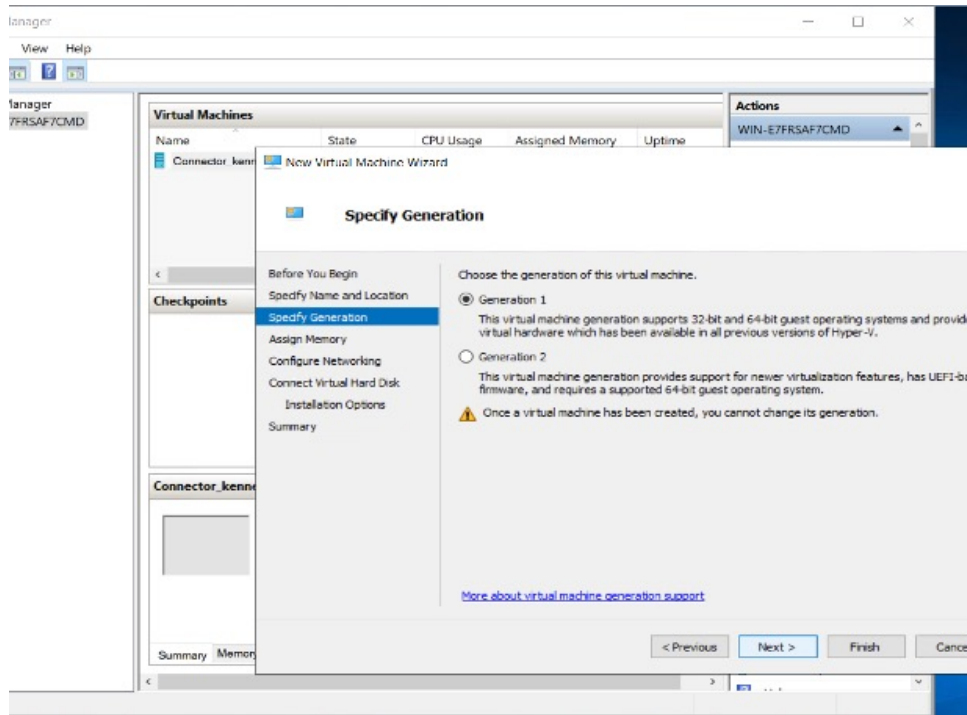
図 2: Hyper-V 展開の開始



ステップ 4 コネクタの [Name] を入力し、仮想マシンを作成する場所を選択します。



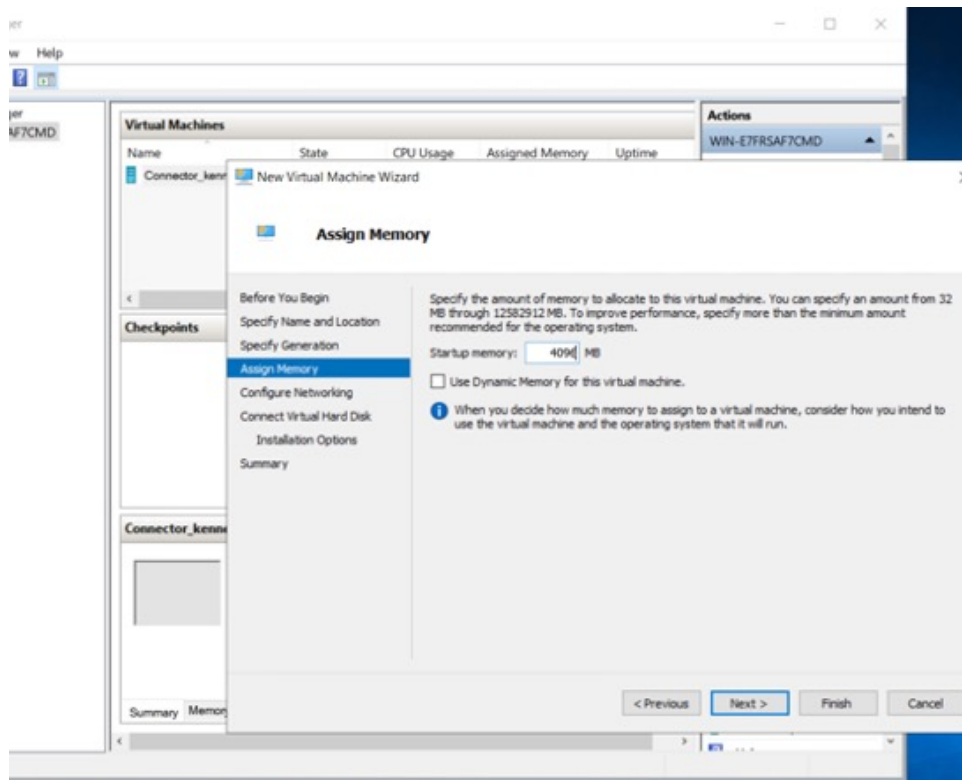
ステップ 5 [Specify Generation] ページで [Generation 1 VM] を選択します。



(注) [Generation 2 VM] はサポートされていません。

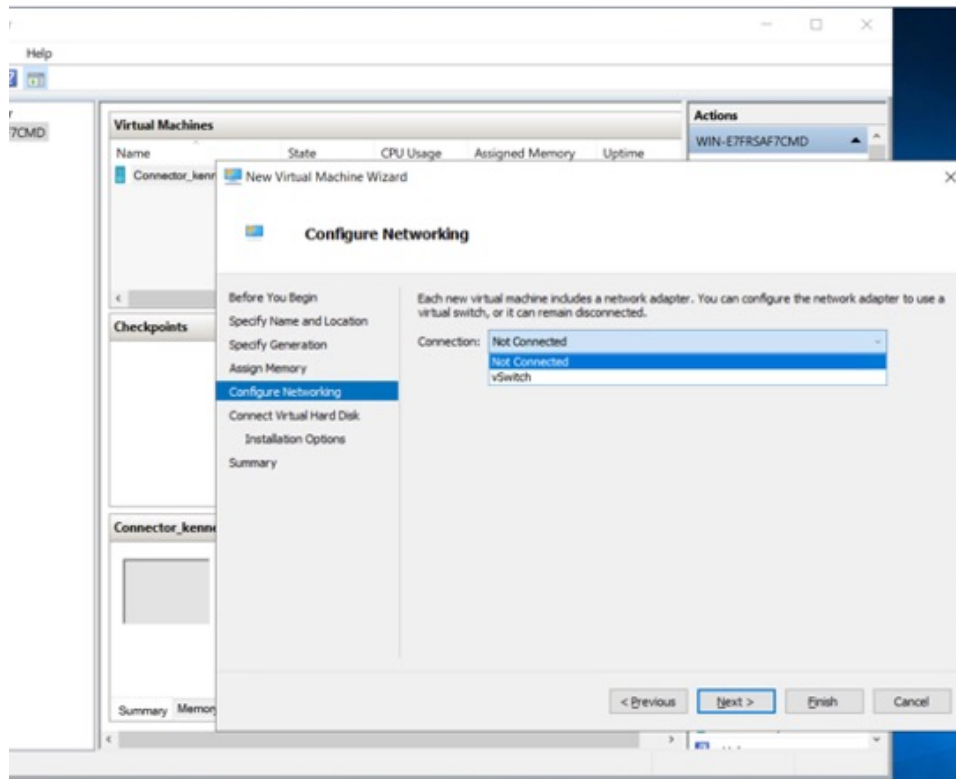
ステップ 6 [Assign Memory] ページで、仮想マシンインスタンスに 4096 MB (4GB) のメモリを指定します。

(注) 4096 MB (4GB) のメモリは、OVA の標準設定に相当します。



ステップ7 [Configure Networking] ページで、前提条件として作成した vSwitch を選択します。

図 3: vSwitch の選択



ステップ 8 [Connect Virtual Hard Disk] ページで、[Use an existing hard disk] オプションを選択し、VHDX ファイルが保存されているフォルダの場所を選択します（前提条件）。

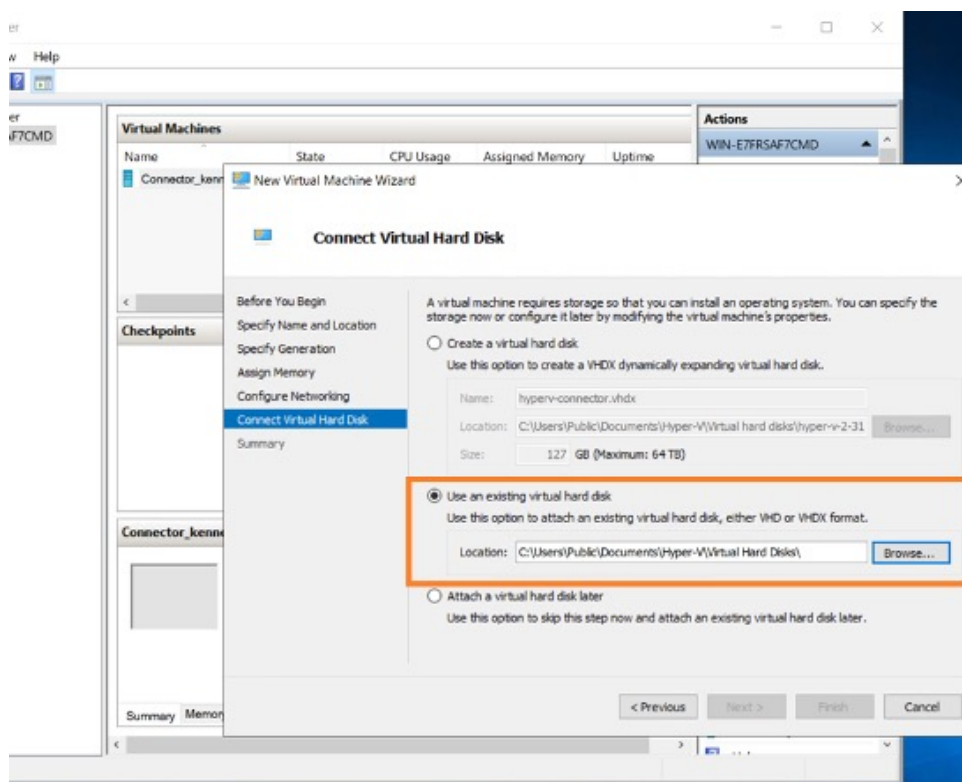
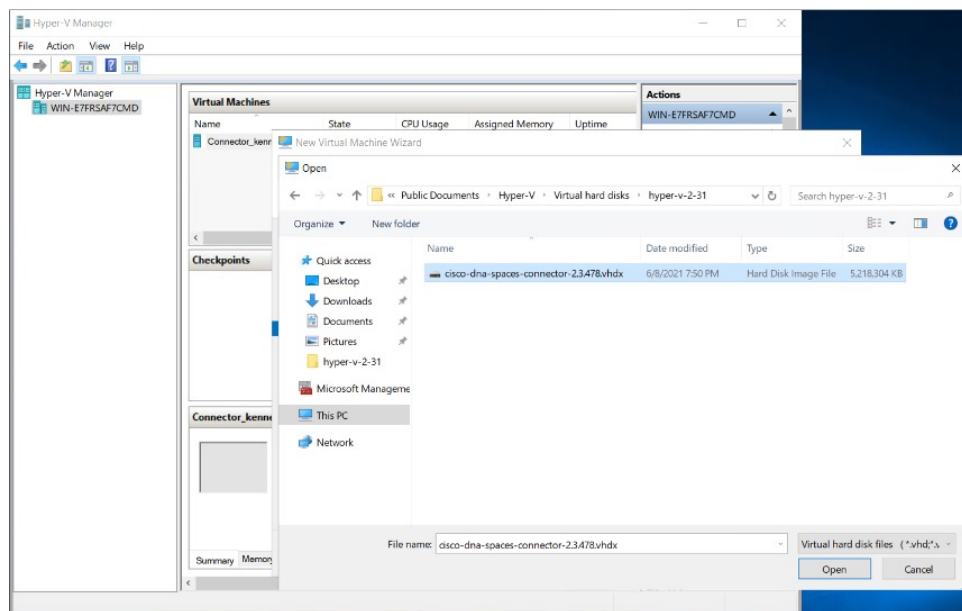
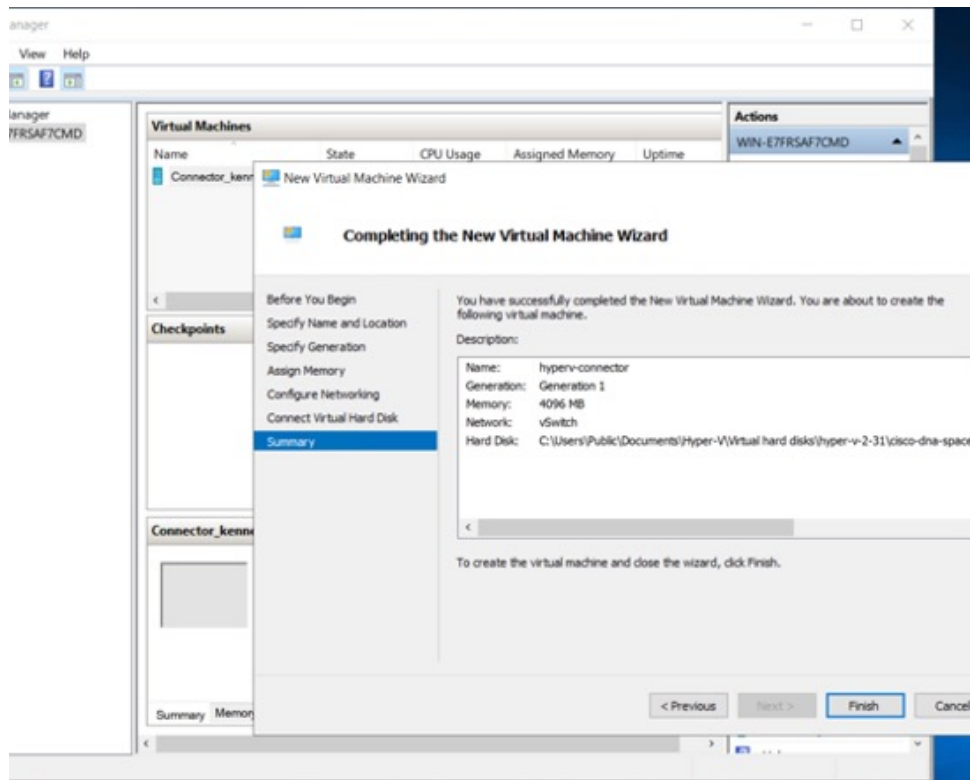


図 4: VHDX ファイルが保存されているフォルダの場所

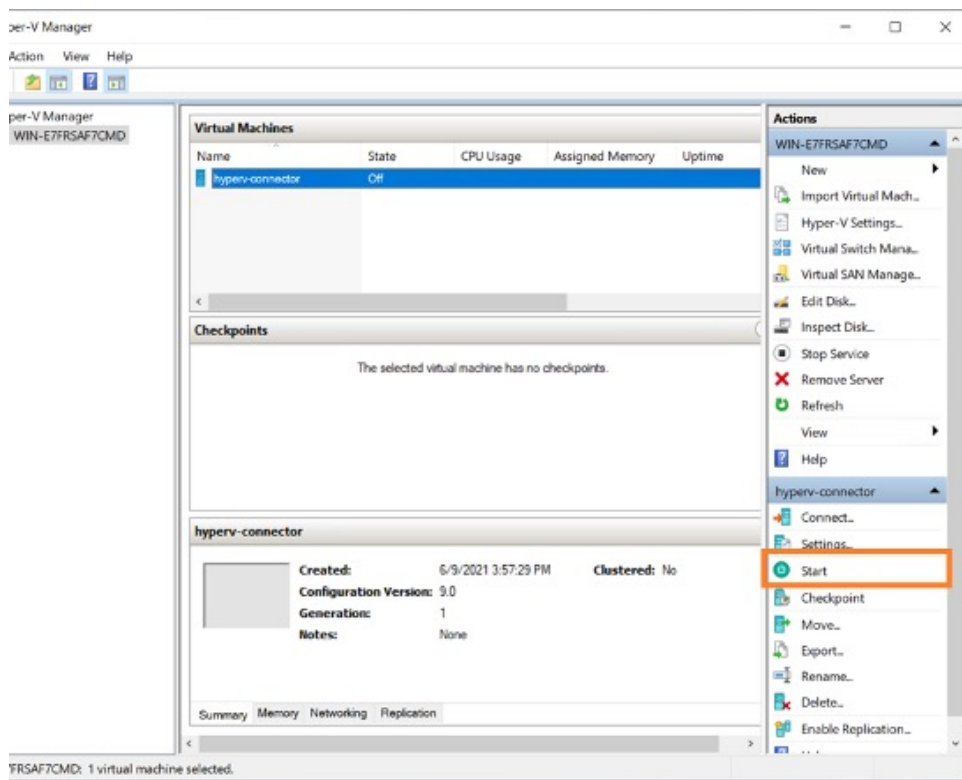


ステップ 9 [Completing the New Machine Wizard] ページに、最終的な要約が表示されます。この要約を確認して、[Finish] をクリックします。



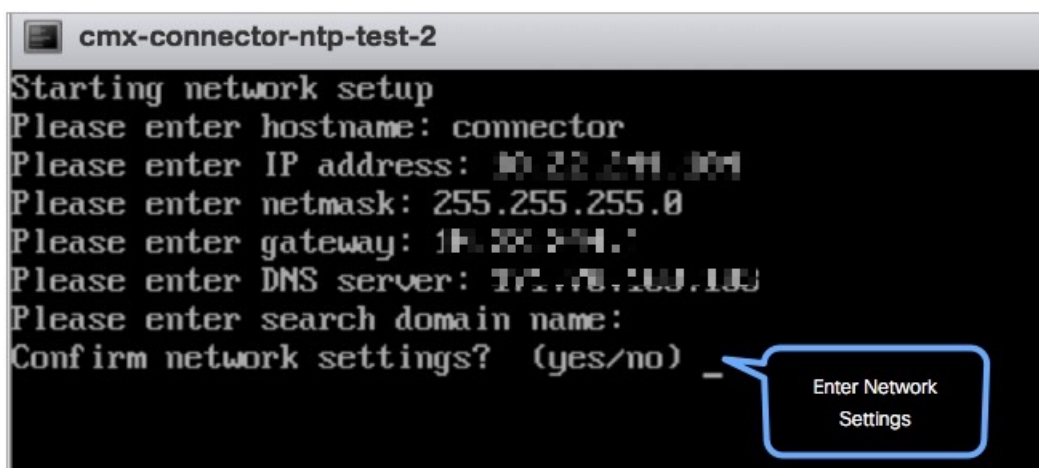
Hyper-V インスタンスが作成されます。

ステップ 10 作成された Hyper-V インスタンスを選択し、[Start] をクリックします。



仮想マシンコンソールが開きます。

- ステップ 11** 端末にログインし、デフォルトのユーザ名「**root**」とデフォルトのパスワード「**cisco**」を入力します。
- ステップ 12** Cisco DNA Spaces : コネクタ で設定する IP アドレス、ホスト名などのパラメータを指定して、ネットワーク設定を入力します。



(注) この設定画面は60秒でタイムアウトするので、再設定を避けるために時間内に入力してください。

- ステップ 13** タイムゾーンを入力します。

```

dhanashri-conn-545-11
-----
Timezone setup
Would you like to setup timezone? (blank for default value (UTC))
y
1. Africa - Press 1
2. America - Press 2
3. Asia - Press 3
4. Australia - Press 4
5. Europe - Press 5
Please select an option from the list above: (blank for default (Default value is 1))
2
1. America/Anchorage - Press 1
2. America/Buenos_Aires - Press 2
3. America/Chicago - Press 3
4. America/Denver - Press 4
5. America/Los_Angeles - Press 5
6. America/Mexico_City - Press 6
7. America/New_York - Press 7
8. America/Phoenix - Press 8
9. America/R Regina - Press 9
10. America/Santiago - Press 10
11. America/Sao_Paulo - Press 11
12. America/Toronto - Press 12
13. America/Vancouver - Press 13
Please select an option from the list above: (blank for default (Default value is 1))
5

```

Configure Time Zone

```

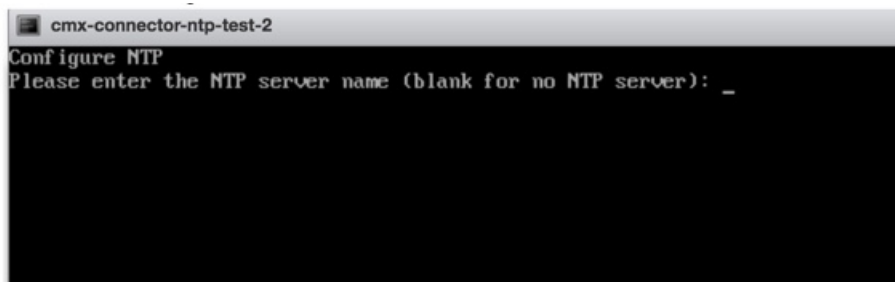
dhanashri-conn-545-11
-----
Timezone set successfully
Local time: Thu 2020-02-20 15:06:18 PST
Universal time: Thu 2020-02-20 23:06:18 UTC
RTC time: Thu 2020-02-20 15:06:18
Time zone: America/Los_Angeles
NTP enabled: yes
NTP synchronized: no
RTC in local TZ: yes
DST active: no
Last DST change: DST ended at
Sun 2019-11-03 01:59:59 PDT
Sun 2019-11-03 01:00:00 PST
Next DST change: DST begins (the clock jumps one hour forward) at
Sun 2020-03-08 01:59:59 PST
Sun 2020-03-08 03:00:00 PDT
Warning: The system is configured to read the RTC time in the local time zone.
This mode can not be fully supported. It will create various problems
with time zone changes and daylight saving time adjustments. The RTC
time is never updated, it relies on external facilities to maintain it.
If at all possible, use RTC in UTC by calling
'timedatectl set-local-rtc 0'.
Please hold on... Fetching additional configurations...

```

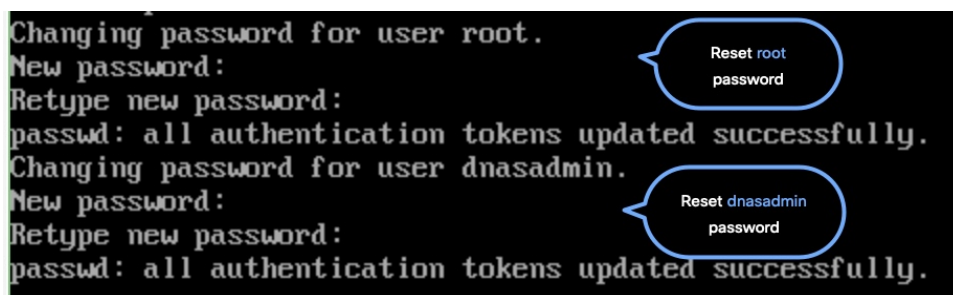
Time Zone set successfully

ステップ 14 Network Time Protocol (NTP) サーバ名を入力して、システム時刻を NTP サーバと同期します。NTP サーバを設定しない場合は、空白のままにします。

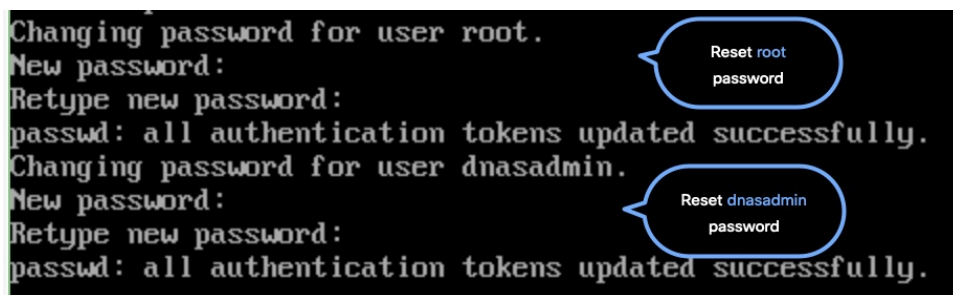
図 5: NTP 設定の入力



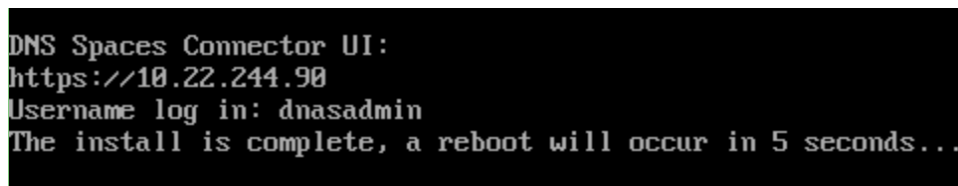
ステップ 15 root ユーザの新しいパスワードを設定します。



ステップ 16 管理者権限を持つユーザである **dnasadmin** ユーザの新しいパスワードを設定します。



ステップ 17 自動リブートの前に URL をコピーして保存します。後でこの URL を使用して Cisco DNA Spaces : コネクタ GUI を開くことができます。



次のタスク

[Cisco DNA Spaces でこのコネクタを設定できます。](#)

